

■特長

この時計は、100本の計測タイムをメモリー（記憶）し、呼び出すことができます。また、メモリーが100本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーできます。（クロノグラフ機能で測定した結果から、リコール機能を使いベストラップタイム・平均ラップタイムを呼びだせるランナー向けスポーツウオッチです。）さらに、3チャンネルアラーム機能、タイマー機能をあわせもった多機能のデジタル時計です。

- 「時刻・カレンダー機能」
 - 日、曜日、時、分、秒を表示し、12時間制24時間制いずれかの時刻表示を選択できます。
 - 2058年（12月31日）までうるう年などの月末修正がいらない「フルオートカレンダー」です。

- 「クロノグラフ（ストップウォッチ機能）」
 - 1/100秒単位で計測できる最大計測時間9時間59分59秒99のストップウォッチ機能です。
 - ラップタイム、スプリットタイムを最大100本メモリー（記憶）することができます。
 - メモリーが100本以内であれば、分割（チャンネル）してメモリーすることができます。

- 「リコール機能」
 - メモリーしたデータ（ラップ回数、ラップタイム、スプリットタイム）を計測後リコール（呼び出し）することができます。
 - ベストラップ表示、平均ラップ表示ができます。

- 「タイマー機能」
 - 1分から60分まで1分単位で設定ができます。

- 「アラーム機能」
 - 設定した時刻（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラーム機能付です。
 - 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

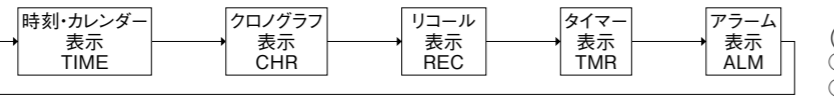
- 「オートパネライト機能」
 - あらかじめ設定する、ボタン操作のたびに、約2秒間ライトが点灯します。（修正する時は除く）

- 「内部照明（パネライト）機能」
 - 専用ボタノ操作により、どの表示状態でも1回押して約2秒間ライトが点灯します。

■ボタンの名称と表示の切替



- ボタンAを押すごとに、次の順序で切り替わります。

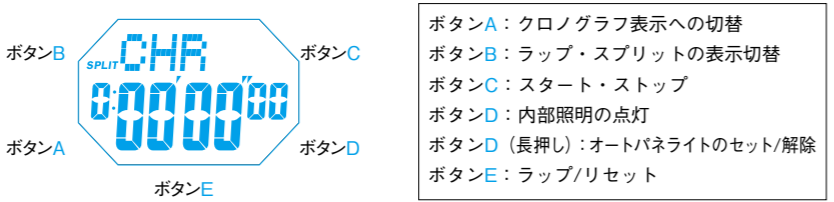


※操作確認音がセットされていますと、表示を切り替えるごとに「ピッ」と鳴ります。（操作確認音については、「時刻・カレンダーの合わせかた」を参照してください。）※表示が切り替わるタイミングはボタンを押した後2秒以内に遷した時となります。

■クロノグラフの使いかた

- 1/100秒単位、最大計測時間は9時間59分59秒99です。
- ラップタイムまたはスプリットタイムを表示し、ベストラップタイム、平均ラップタイム等をメモリー（記憶）します。
- ここで計測したラップ/スプリットタイム、およびベストラップ・平均ラップタイムは、リコール表示で呼び出し見ることができます。
- ※詳しくは「リコールの使いかた」を参照ください。
- 最大100メモリー（記憶）できます。
- 測定した値はチャンネル（ch）ごとに分割してメモリー（記憶）することができます。

- ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「クロノグラフ表示」状態にしてください。



ラップタイムは、区間ごとの経過時間であり、スプリットタイムは、スタートからある区間までの途中経過時間です。

●メモリーの考えかた	
計測の使いかた	メモリーの使用量
1 スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
2 スタート→ストップ/再スタート→ストップ→リセット	3～4メモリー
3 スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
4 スタート→ストップ/再スタート→ラップ→ストップ→リセット	4～5メモリー
5 スタート→ラップ→ラップ→ストップ→リセット	5～6メモリー

※ベストラップタイム、平均ラップタイムを関係のため、1つでもデータを取ると、最低3つのメモリーを使います。1チャンネル(ch)のみ使用した場合は100メモリー(記憶)できますが、chを複数使用した場合はメモリーの合計が100に達しません。

※ラップ/スプリットを計測した際、上段にラップ回数と「FUL」と表示が交互に点滅した場合、ラップ/スプリットタイムのメモリーができません。メモリーがいっぱいになっているという意味です。その計測でのラップ/スプリットタイムは呼び出せません。

※クロノグラフ機能を使用するときに、上段に[F-0]と表示されていた場合は、ラップ/スプリットタイムのメモリーができません。「リコールの使いかた」を参照してください。

■アラームの使いかた

- 設定した時間（時・分）で毎日報知する3チャンネルのデイリーアラームです。
- 各チャンネルは、アラームのon/-（セット/解除）切替ができます。

- ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。



- (2) アラームの使いかた
 - 3チャンネルとも、使いかたは同じです。
 - 例：「アラーム1」のところで、アラーム時刻を「午前6時30分」にセットする場合

- ボタンAを押して「アラーム表示」状態にしてください。
- ボタンEを押して「AL-1」を呼び出します。
- ボタンAを長押しすると「時」が点滅し、「アラーム時刻合わせ状態」になります。
- ボタンEを押すたびに「時」と「分」が交互に点滅表示します。修正する箇所を選択してください。
- 合わせたいところを点滅させたあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（ボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
- セットが終わりましたらボタンAを押して修正状態を解除して「アラーム1表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「アラーム1表示」へ自動的にもどります。

■電池についてのお願いとご注意

- 最初の電池
 - お買い上げの時計にあらかじめ組み込まれている電池は、機能・性能をみるためのモニター用です。お買い上げ後上記の期間に満たないうちに電池寿命が切れることがありますのでご了承ください。

- 電池交換
 - 電池交換は、必ずお買い上げ店または、取扱店が「純正電池」とご指定の上、ご用命ください。
 - 電池寿命切れの電池をそのまま長時間放置しますと、漏液などで故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
 - 電池交換は、保証期間内でも有料となります。
 - 電池交換等で裏ぶたを開閉しますと当初の防水性能を維持できなくなる場合があります。電池交換の際には、お客様の時計の防水性能に合った防水検査をご依頼ください。

- 電池寿命切れ予告機能
 - この時計には、電池の交換時期を知らせる電池寿命切れ予告機能が付いています。※「時刻表示」のときに全ての点灯セグメントが点滅状態になりますと、2～3日に時計が止まる可能性があります。お早めにお買い上げ店で電池交換をご依頼ください。

■電池交換後のお願い（システムリセット）

電池交換後に、万一異常な表示（読めない表示など）になった場合、以下の操作をしてください。時計内部のシステムがリセットされ、正常に機能するようになります。

- システムリセットのしかた
 - ボタンACDE4つを同時に2～3秒間押し続けてください。表示が一旦消え、ボタンを離した後「1月1日BAM12時00分00秒」になります。

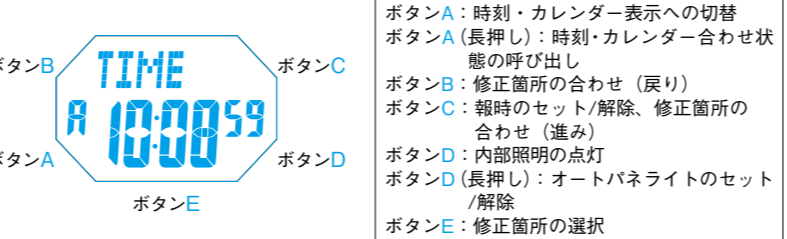
ご使用前に下記の順番で操作してください。
①時刻・カレンダー合わせ
②アラームの設定

■製品仕様

- 水晶振動数 ……32,768Hz
- 精度 ……平均月差±20秒（気温5℃～35℃において腕につけた場合）
- 作動温度範囲 ……-5℃～+50℃
 - ただし表示機能は0℃～+50℃
- 表示体 ……TN
- 使用電池 ……小型リチウム電池CR1620 1個
- 電池寿命 ……約3年
- 電池寿命切れ予告機能
- 電子回路 ……発振・分周・駆動回路（C＝MOS－LSI 1個）
 - ※上記の製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

■時刻・カレンダーの合わせかた

- ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。



- 時刻・カレンダーの合わせかた
 - ①ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ②ボタンEを1回押すごとに合わせたいところ（点滅）を選ぶことができます。

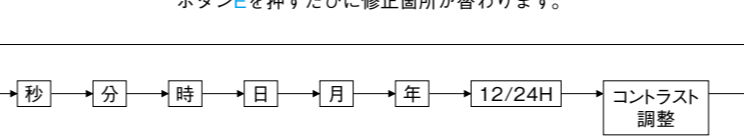


- 普通の使いかた（積算タイムを測る）
 - ボタンCスタート → ボタンCストップ → ボタンC再スタート → ボタンCストップ → ボタンEリセット
 - ボタンA：クロノグラフ表示への切替
 - ボタンB：ラップ/スプリットの表示切替
 - ボタンC：スタート・ストップ
 - ボタンD：内部照明の点灯
 - ボタンD（長押し）：オートパネライトのセット/解除
 - ボタンE：ラップ/リセット
 - 「[F-100]表示は、100メモリーできます。
 - ・スタート後「L-1」表示に切り替わります。
 - 「[F-96]表示は、残り96メモリーできます。
 - ※途中のストップ・再スタートは、何回でも繰り返すことができます。

- ラップ/スプリットタイムの測りかた（ラップを10回測定した場合）
 - ボタンCスタート → ボタンEラップ/スプリット → ボタンEラップ/スプリット → ボタンCストップ → ボタンEリセット
 - ボタンA：クロノグラフ表示への切替
 - ボタンB：ラップ/スプリットの表示切替
 - ボタンC：スタート・ストップ
 - ボタンD：内部照明の点灯
 - ボタンD（長押し）：オートパネライトのセット/解除
 - ボタンE：ラップ/リセット
 - 「[F-100]表示は、100メモリーできます。
 - ・スタート後「L-1」表示に切り替わります。
 - 「[F-87]表示は、残り87メモリーできます。
 - ※ラップ/スプリット計測後、約10秒間表示をホールドし、ラップ回数点滅します。その後自動的にストップウォッチ計測表示にもどります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。※途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降は、1001（表示：001）、1002（表示：002）と順次表示します。※Bボタン計測中にラップ/スプリットの表示の切り替えができます。

※ラップ/スプリット計測後、約10秒間表示をホールドし、ラップ回数点滅します。その後自動的にストップウォッチ計測表示にもどります。ラップ回数は、次のラップ回数を表示します。※途中のラップは、何回でも繰り返すことができます。ラップ回数は、999回まで表示します。以降は、1001（表示：001）、1002（表示：002）と順次表示します。※Bボタン計測中にラップ/スプリットの表示の切り替えができます。

ボタンEを押すたびに修正箇所が変わります。

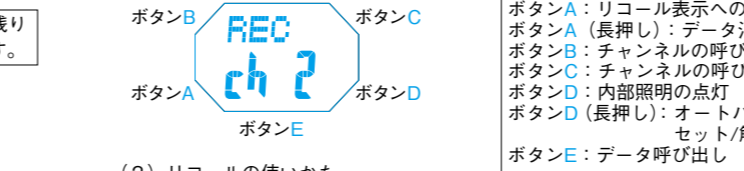


- ボタンEを押して「秒」を点滅状態にし、時報と同時にボタンBまたはボタンCを押すと「00」に合います。
 - ※時報が30～59秒の時、ボタンBまたはボタンCを押すと1分繰り上がって「00」に合います。※時刻合わせは、電話の時報サービス（TEL.117）が便利です。
 - ①合わせたいところを選択したあと、ボタンCを1回押すごとに点滅している数字が1つずつ進みます。（反対にボタンBを押すごとに1つずつ戻ります。）（「秒」[12/24H]を除く。）
 - ※ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - ※「時刻・カレンダー合わせ」が終了しましたら、ボタンAを1回押して修正状態を解除して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」へ自動的にもどります。※カレンダーは2013年から2058年までの年・月・日・曜日がプログラムされているので、この間、月の大小や、うるう年でも修正する必要はありません。



- 最大100メモリー（記憶）できます。
- チャンネル（ch）ごとにメモリーを呼びだすことができます。
- ベストラップタイム、平均ラップタイムを表示します。（1つのデータの場合は、ベストラップタイムを表示します。）

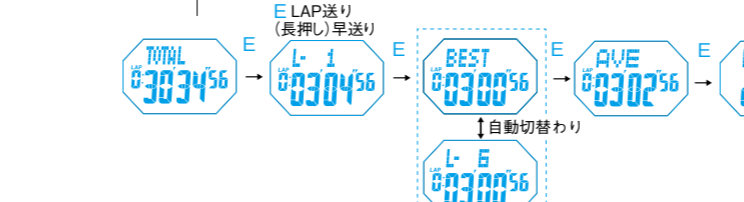
- ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。※はじめに最新のチャンネルを表示します。



- リコールの使いかた
 - 例：チャンネル2（ch2）を見た場合
 - ①ボタンAを押して「リコール表示」にしてください。※はじめに最新のチャンネルを表示します。
 - ※クロノグラフで選択している内容でリコール表示します。ラップタイムをリコールする場合はクロノグラフがラップタイム表示になっていることをお確かめください。

- ボタンBまたはCを押して、呼び出したチャンネル（ch-2）を選びます。
- ボタンEを押して、ラップタイムの確認ができます。次の順序で確認できます。

トータル→1→2→・・・→ベストラップタイム→平均ラップタイム→ch2



※ベストラップ表示する時は、「BEST」表示と「L-※」が交互に表示されます。

- 他の測定結果を見たい場合は、ボタンBまたはCを押して見たいチャンネルを選び、③のように確認してください。

■使用上のご注意とお手入れについて

●製品取扱上のご注意

▲警告

- 次のような場合、ご使用を中止してください
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
 - ※すぐに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。

- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください
 - 部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうと有害があります。万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。

- ・時計から電池を取り出さないでください
 - 電池の交換には専門知識・技能が必要です。でお買い上げ店にご相談ください。電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
- ・この時計はスクューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください
 - スクューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要な可動な環境を想定した様々な厳しい検査を行っています。専用のダイバズウォッチをご使用ください。

▲注意

- 以下の場所での携帯・保管は避けてください
 - 揮発性の薬品が発散しているところ（除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど）
 - 5℃～35℃から外れる温度に長期間なところ
 - 高湿度なところ
 - 磁気や静電気の影響があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ
 - ※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が満液するおそれがあります。

- ・アレルギーやかぶれを起こした場合は、ただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門店にご相談ください。

- ・直接蛇口から水をかけることは避けてください
 - 水道水は非常に水圧が高く、日常生活強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。

- ・水分のついたまま、ボタンを操作しないでください。時計内部に水分が入ることがあります。※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。お早めに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。

- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください
 - 防水時計でもガラスの接面面・バックシンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。

- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください
 - 蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。

- ・その他のご注意
 - 金属バンドの調整は専門知識・技術が必要ですので、お買い上げ店にご相談ください。手や指などにケガをする可能性があるほか、部品を紛失する可能性があります。※ご弊舎、ご来店などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へ依頼ください。お買い上げ店以外では有害なものはお取扱いただけない場合があります。
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。
 - ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 揚げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

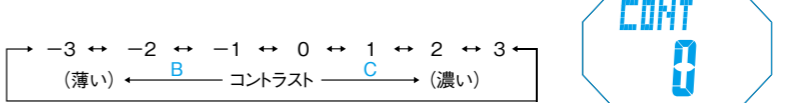
●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外觀の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。

- ※時刻修正の途中で「全点灯表示」になるのは、故障ではありません。ボタンEとボタンCが同時に押された状態です。その場合はABCDEいずれか1つのボタンを2回押して、「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。次にあらためて、(2)の①から合わせなおしてください。

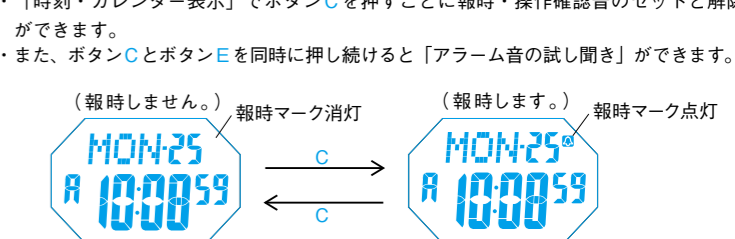
- コントラスト調整の合わせかた
 - 表示のコントラスト（明るさ）の調整ができます。初期化された時及びオールクリア時のコントラストは「0」設定です。

- ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」状態にしてください。
 - ①ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー合わせ」状態になります。
 - ②ボタンEを押して、「コントラスト調整」状態にしてください。
 - ③ボタンBまたはボタンCを押してコントラストを調整します。



- 調整が終わりましたら、ボタンAを押して「時刻・カレンダー表示」にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「時刻・カレンダー表示」状態へ自動的にもどります。

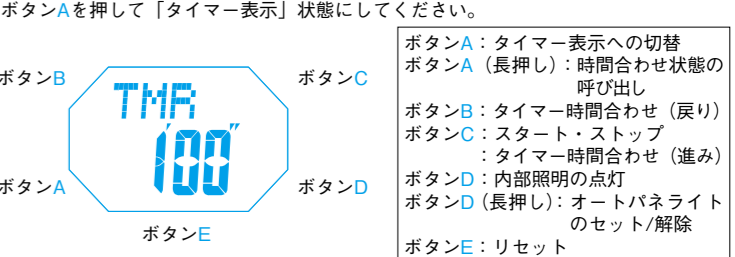
- アラーム音の試し聞き（サウンドデモンストレーション）と報時並びに操作確認音のセットと解除
 - 「時刻・カレンダー表示」でボタンCを押すごとに報時・操作確認音のセットと解除ができます。
 - また、ボタンCとボタンEを同時に押し続けると「アラーム音の試し聞き」ができます。



- オートパネライトのセットと解除
 - 各表示状態でボタンDを2秒間押し続けることで、オートパネライトのセット（マーク点灯）と解除（マーク点灯の消灯）ができます。

■タイマーの使いかた

- ・タイマーは1分から60分まで1分単位で設定ができます。
 - ボタンの名称とはたらき
 - ボタンAを押して「タイマー表示」状態にしてください。



- タイマー時間の合わせかた
 - ①ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。
 - ※タイマー設定時間の初期値は1分です。
 - ※タイマー時間の合わせはタイマーリセットされた状態でおこなってください。
 - ②ボタンAを長押しすると「時刻・カレンダー表示」状態になり、現在設定されているタイマー時間が点滅表示されます。
 - ③ボタンC（進む）ボタンB（戻る）でタイマー時間を合わせます。ボタンCまたはボタンBを押し続けると、早送りできます。
 - ④ボタンAを押して「タイマー表示」状態にもどしてください。押し忘れた場合でも2～3分後には「タイマー表示」へ自動的にもどります。

- タイマーの使いかた
 - ①ボタンAを押して「タイマー表示」にしてください。
 - ②ボタンCを押してタイマーをスタート/ストップできます。
 - ③ボタンEを押してタイマーをリセットできます。

※計測中のストップ、再スタートは何回でも繰り返すことができます。

※タイムアップする3秒前から予告音が鳴り、タイムアップすると5秒間タイムアップ音が鳴ります。

※鳴っていないタイムアップ音を止めるにはABCDEいずれか1つのボタンを押してください。

バンドサイズのみやすについて
バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

- 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）について
 - 長くご愛用いただくために、3年～4年に1度程度の点検調整のための分解掃除（オーバーホール）をおすすめします。ご使用状況によっては、漏液により表示消えが生じることがあります。またバックシンの一部の部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。点検調整のための分解掃除（オーバーホール）は、「純正部品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、バックシンの交換もあわせてご依頼ください。
 - 点検調整のための分解掃除（オーバーホール）の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。

ポリウレタンバンド
光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
・水や汗、直射日光に強く、色落ちや劣化の原因になります。
・水がかかったときや汗をかいた後は、十分に乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
・直射日光にあたる場所には放置しないでください。
・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
・時計本体が日常生活強化防水10（20）気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

- かぶれやアレルギーについて
 - 水や汗によるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感が原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

※お問い合わせ先
お問い合わせ先は、お買い上げ店または、弊社お客様相談窓口です。